

4. 研究の動向

4-1. 学術振興会特別研究員：応募・採用状況

<平成 26 年度>

	PD/SPD		DC2		DC1		RPD	
	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数
先端人間科学	1	0	4	1	4	0	0	0
人間行動学	2	0	5	1	4	1	0	0
行動生態学	0	0	3	2	0	0	0	0
社会環境学	2	0	8	2	5	2	0	0
基礎人間科学	2	2	3	1	1	0	0	0
臨床教育学	0	0	5	2	5	1	0	0
教育環境学	2	1	3	0	4	0	0	0
人間開発学	0	0	0	0	2	1	0	0
地域研究	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	9	3	33	9	25	5	0	0
採用率		33.33%		27.27%		20.00%		0.00%

(注)PD/SPD/RPD の応募者は人間科学研究科教員が受け入れ教員となった場合のみ。

<平成 27 年度>

	PD/SPD		DC2		DC1		RPD	
	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数	応募者数	採用者数
先端人間科学	0	0	3	0	0	0	0	0
人間行動学	1	0	6	3	1	0	0	0
行動生態学	0	0	0	0	1	0	0	0
社会環境学	2	0	5	1	3	1	0	0
基礎人間科学	5	1	2	0	3	2	0	0
臨床教育学	0	0	4	2	2	0	0	0
教育環境学	1	0	3	0	2	2	0	0
人間開発学	0	0	6	1	0	0	0	0
地域研究	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	9	1	30	7	12	5	0	0
採用率		11.11%		23.33%		41.67%		0.00%

(注)PD/SPD/RPD の応募者は人間科学研究科教員が受け入れ教員となった場合のみ。

4-2. 平成 26 年度 学術振興会 特別研究員 採用一覧

	採用 年度	資格	特別研究員 氏名	研究指導者名	H26 交付内定額 (千円)	
1	24	DC1	榎原 久直	井村 修	900	自閉症児者と養育者との関係障害改善と関係発達を促す援助法・評価法の開発
2	24	DC1	宮澤 由歌	檜垣 立哉	500	親密な関係と暴力が共存する共同体の理論的解明-バタイユの共同体論を中心に
3	24	DC1	鈴木 和歌奈	森田 敦郎	600	幹細胞研究をめぐる希望と共生産についての研究
4	25	DC1	志田 未来	志水 宏吉	1,200	ひとり親家庭の抱える困難に関する研究-ひとり親家庭の子どもの視点から捉える-
5	25	DC1	谷岡 謙	吉川 徹	900	階層認知の実態とメカニズムの計量的解明
6	25	DC1	寺口 司	釘原 直樹	900	正当化装置としての正義:正義ラベルが攻撃行動の評価に及ぼす影響過程の検討
7	25	DC1	勝 野吏子	中道 正之	1,000	野生ニホンザル集団におけるコンタクトコールの使い分けとその学習に関する発達研究
8	25	DC2	竹田 剛	佐々木 淳	1,000	神経性過食症患者に対する自尊感情向上プログラムの開発と評価
9	25	DC2	伊藤 理史	吉川 徹	1,000	現代日本の政治意識メカニズムの計量社会学的解明
10	25	DC2	玉城 福子	牟田 和恵	500	沖縄における「慰安婦」をめぐる記憶のポリテクス
11	25	DC2	渡邊 智子	中村 安秀	900	タイ国による国内外に向けたエイズ対策支援活動
12	25	DC2	村橋 勲	栗本 英世	500	南スーダンにおける紛争解決と平和構築に関する研究
13	25	PD	八幡 恵一	村上 靖彦	700	モーリス・メルロー=ポンティの哲学における「表現」の問題
14	26	DC2	野島 那津子	山中 浩司	1,000	難治性疾患患者の困難と診断の諸効果の解明——医療化論の再考に向けて
15	26	DC1	狭間 諒太郎	川端 亮	1,200	地域間移動と階層間移動が人々の意識に与える影響
16	26	DC1	額田 有美	千葉 泉	1,200	コスタリカの「文化鑑定」に関する人類学的研究
17	26	DC2	田辺 裕美	藤岡 淳子	1,200	加害と再犯を防ぐための行動変化サポートに関する研究—当事者の視点に注目して
18	26	PD	白川 俊之	中澤 渉	700	社会階級・階層と高等教育の不平等に関する国際比較研究:制度的アプローチによる検討
19	26	DC1	大久保 将貴	稲場 圭信	1,200	介護保険制度のダイナミクス—生成と変化のメカニズム—
20	26	DC2	永井 祐也	金澤 忠博	1,000	PECSの訓練が自閉症スペクトラム障害児とその母親の相互交渉に及ぼす効果
21	26	DC2	佐藤 桃子	斉藤 弥生	1,000	子どもを対象とするソーシャルワークと家族への支援に関する研究
22	26	PD	飛内 悠子	栗本 英世	1,100	南スーダンにおけるキリスト教信仰覚醒運動:人々の内戦、移住の経験とグローバル化
23	26	DC2	井崎 基博	金澤 忠博	1,000	学齢期超低出生体重児の読みやプロソディ理解と発達障害特性の定量的検討
24	26	DC2	東 美由紀	苧阪 満里子	1,000	眼球運動計測によるワーキングメモリの注意制御機構と発達の变化的検討
25	26	DC2	古川 不可知	森田 敦郎	1,200	ネパール東部・エベレスト山麓地域における道と「シェルパ」の人類学的研究
26	26	DC2	久坂 哲也	三宮 真智子	900	メタ認知に働きかけて科学的探究能力を育成する研究
27	26	DC2	内田 遼介	釘原 直樹	1,200	マルチレベルアプローチによる集合的効力感の概念特性に関する再考
28	26	DC1	久保田 彩	佐藤 眞一	1,200	高齢者施設における看取り介護:看取りケア効力感を高める教育的介入に関する研究
29	26	PD	長坂 真澄	村上 靖彦	800	デリダ哲学の現代フランス現象学における位置づけの研究—出来事概念を指標として
合計					27,500	

4-3. 科学研究費助成事業申請・採択状況(種目別)

研究種目	継続		新規			継続+新規			
	申請 件数	採択 件数	申請 件数	採択 件数	採択率 (%)	申請 件数	採択 件数	採択率 (%)	交付金額 (千円)
基盤研究(S)	1	1	0	0	0.0	1	1	100.0	52,200
基盤研究(A)	4	4	5	4	80.0	9	8	88.9	49,300
基盤研究(B)	8	8	12	6	50.0	20	14	70.0	42,300
基盤研究(C)	12	12	10	6	60.0	22	18	81.8	16,900
挑戦的萌芽研究	9	9	4	3	75.0	13	12	92.3	11,400
若手研究(S)	0	0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
若手研究(A)	1	1	0	0	0.0	1	1	100.0	2,298
若手研究(B)	9	9	7	4	57.1	16	13	81.3	13,500
研究活動スタート支援	1	1	5	2	40.0	3	1	33.3	3,100
新学術領域研究	1	1	3	0	0.0	4	1	25.0	1,500
研究成果公開促進費	0	0	1	1	100.0	1	1	100.0	1,300
合計	46	46	47	26	55.3	93	72	77.4	193,798

※申請件数には申請後の転出者申請分を含む(逆に申請後の転入者申請分は含まない)。

※特任助教・特任研究員を含む(招へい研究員・非常勤講師は含まない)。

4-4. 科学研究費助成事業申請・採択状況(講座別)

講座名等	現員	申請者(継続)		申請者(新規)				申請者(継続+新規)		
		件数	申請率 (%)	件数	申請率 (%)	採択 件数	採択率 (%)	件数	申請率 (%)	採択率 (%)
		a	b	b/a	c	c/a	d	d/c	b+c	b+c/a
先端人間科学	22	8	36.4	4	18.2	2	50.0	12	54.5	83.3
人間行動学	19	6	31.6	13	68.4	4	30.8	19	100.0	52.6
行動生態学	12	5	41.7	6	50.0	5	83.3	11	91.7	90.9
社会環境学	14	5	35.7	8	57.1	5	62.5	13	92.9	76.9
基礎人間科学	7	5	71.4	0	0.0	0	0.0	5	71.4	100.0
臨床教育学	12	7	58.3	4	33.3	3	75.0	11	91.7	90.9
教育環境学	10	4	40.0	4	40.0	4	100.0	8	80.0	100.0
人間開発学	8	4	50.0	4	50.0	2	50.0	8	100.0	75.0
地域研究	7	1	14.3	2	28.6	1	50.0	3	42.9	66.7
比較行動実験施設	2	1	50.0	2	100.0	0	0.0	3	150.0	33.3
合計	113	46	40.7	47	41.6	26	55.3	93	82.3	77.4

※申請件数には申請後の転出者申請分を含む(逆に申請後の転入者申請分は含まない)。

※申請時(H25年10月時点)に在籍している講座でカウント。

ただし、研究活動スタート支援分(新規課題)は、申請時期が次年度の為、H26年5月時点でカウント。

※特任助教・特任研究員を含む(招へい研究員・非常勤講師は含まない)。

※G30の教員は便宜上、先端人間科学でカウントする。

4-5. 平成 26 年度 科学研究費助成事業採択一覧(継続分)

講座所属	研究代表者名	職名	種目名	研究課題名	H26 交付決定額(千円)
先端人間	芋阪 満里子	教授	基盤A	非意識下プロセスにおけるワーキングメモリの脳内機構:意識下と麻酔下との比較	5,300
	前迫 孝憲	教授	基盤A	教育クラウドによる学習支援環境の開発	7,300
	渥美 公秀	教授	基盤B	東日本大震災におけるコミュニティ復興のアクションリサーチ	2,900
	山本ベバリーアン	教授	基盤C	日英の思春期女性の「不健康な性行動」の社会的要因に関する研究	800
	諏訪 晃一	助教	挑戦的萌芽	コミュニティのための文化的共有資源のマネジメントに関する実践的研究	700
	渥美 公秀	教授	挑戦的萌芽	新しい災害互助システム「被災地のリレー」の構築に向けた現場研究	1,200
	小山 虎	特任助教	若手B	分析哲学の方法論の再検討に基づく新たなメタ形而上学の追究	400
	源 健宏	助教	若手B	感情価値ベースの注意資源を探る-認知神経科学的手法による検討-	1,200
山崎 吾郎	招へい研究員	若手B	身体と情動の経済:人体の医学的利用に関する経済人類学的研究	1,000	
人間行動	臼井 伸之介	教授	基盤B	エラー体験プログラムを用いたリスクマネジメント教育の介入効果	3,300
	臼井 伸之介	教授	挑戦的萌芽	放任か制限か? -親の養育態度と子どもの事故の関係-	1,200
	佐藤 真一	教授	挑戦的萌芽	認知症の施設介護におけるボトムアップ型実践システムの開発に関する研究	800
	野村 弘平	特任研究員	挑戦的萌芽	「色彩転換メガネ」の着用による色彩への順応及び色彩のクオリアの研究	1,000
	中川 威	助教	若手B	高齢期における感情発達に関する縦断研究および実験研究	1,200
	中井 宏	助教	若手B	自動車運転中の技能と感情傾向の「見える化」を通じた安全教育の開発	1,000
行動生態	乾 賢	助教	基盤C	おいさと記憶の相互作用による脳内食行動調節機構の解明	1,400
	金澤 忠博	教授	基盤C	超低出生体重児における発達障害の早期発見と早期介入に関する心理・行動研究	1,200
	八十島 安信	准教授	基盤C	食物過剰摂取行動の習慣化と再発に関わる脳の強化学習システムの解明	1,300
	清水 真由子	特任研究員	研究活動 スタート支援	幼児の二次情報に応じた選択的な向社会的行動に関する発達心理学的研究	900
	日暮 泰男	助教	新学術領域	ネアンデルタールとサピエンスの骨格の形態差から探る飛び道具使用行動の差異	1,500
社会環境	吉川 徹	准教授	基盤 S	現代日本における階層意識と格差の連関変動過程の実証的解明	52,200
	山中 浩司	教授	基盤B	ポスト工業社会における男性の健康と医療化	2,700
	友枝 敏雄	教授	基盤B	リスク社会における若者の意識と将来社会の構想-第3回高校生調査の実施-	3,000
	山井 弥生	教授	基盤C	市民社会における介護サービス供給のあり方とサービスの質の測定方法に関する研究	800
	吉川 徹	准教授	挑戦的萌芽	タブレット PC 提示による面接社会調査の標準的技法の開発	500
基礎人間	森田 敦郎	准教授	基盤A	環境インフラストラクチャー:自然、テクノロジー、環境変動に関する民族誌的研究	6,900
	中川 敏	教授	基盤B	東ティモールのナショナリズムの人類学的研究:想像される国家と想像される言語	2,700
	白川 千尋	准教授	基盤B	東南アジア・オセアニア地域における呪術と科学の相互関係に関する文化人類学的研究	2,200
	中山 康雄	教授	基盤C	多元的言語論に基づいた科学哲学の構築	500
	村上 靖彦	准教授	基盤C	医療従事者の死生観およびコミュニケーションに関する現象学的研究	700
臨床教育	藤川 信夫	教授	基盤B	教育と福祉のドラマトゥルギー	2,200
	井村 修	教授	基盤C	筋ジストロフィーにおける自閉傾向のアセスメントと臨床心理学的援助	1,200
	野村 晴夫	准教授	基盤C	高齢期における不随意的回想の連鎖的性質の探索	600
	大谷 和夫	助教	若手B	学級の社会的目標構造が児童の学習動機づけおよび学校適応の促進に及ぼす効果	500
	佐々木 淳	准教授	若手B	妄想的な加害感の生起メカニズムに関する研究	1,000
	西森 年寿	准教授	若手B	高等教育のグループワークでのグループ構成および介入支援システムの研究開発	1,000
	野坂 祐子	准教授	若手B	子どもの性被害と性加害への心理・教育的アプローチ-性的発展の観点から-	1,300
教育環境	小野田 正利	教授	基盤A	対保護者トラブルの予防と解決のための研修プログラムの構築と効果に関する学際的研究	6,900
	中澤 渉	准教授	基盤C	パネルデータ・回顧データに基づく教育効果・発達過程の計量分析	600
	高田 一宏	准教授	基盤C	新自由主義的教育改革と学校文化の葛藤に関する研究	1,200
	志水 宏吉	教授	挑戦的萌芽	小中学生の学力格差の実態把握と改善方途に関する研究-「つながり格差」の視点から	1,100
人間開発	藤目 ゆき	教授	基盤B	冷戦時代の国際女性運動	2,600
	澤村 信英	教授	挑戦的萌芽	学校-保護者間のトラブル解決をめざす対応力育成ワークショップのプログラム開発	1,300
	藤目 ゆき	准教授	挑戦的萌芽	占領軍被害の研究	600
	岡田 千あき	准教授	若手(A)	開発途上国における「スポーツを通じた開発と平和」に関する研究	2,298
	テロスレイエスカピン	非常勤講師	若手B	フィリピン先住民の母子保健に関する住民参加型研究手法を用いた社会的決定要因の解明	800
地域研究	大谷 順子	准教授	基盤C	内陸アジアの被災地における生活復興に関する社会開発フレームワークを用いた研究	1,100
実験施設	山田 一憲	講師	若手B	ニホンザルにみられる寛容性の個体差と地域差-行動関連遺伝子に注目して-	500
合計					134,598

※平成 26 年度在籍者分(招へい研究員・非常勤講師含む)

※H25 年 10 月時点の講座・職名で記載

4-6. 平成26年度 科学研究費助成事業採択一覧(新規採択)

講座所属	研究代表者名	職名	種目名	研究課題名	H26 交付決定額(千円)
先端人間	石井 正子	准教授	基盤A	新・複合社会論: 湾岸諸国の移民に焦点を当てたエスニック集団間関係の研究	6,600
	檜垣 立哉	教授	基盤B	ドゥルーズ研究の国際化拠点の形成	2,900
	山崎 吾郎	招へい研究員	研究成果公開促進費	臓器移植の人類学	1,100
人間行動	権藤 恭之	准教授	基盤B	調高齢社会に向けたサクセスフルエイジングモデルの再構築への挑戦	5,600
	権藤 恭之	准教授	基盤C	加齢に伴うポジティブ感情の上昇と認知資源との逆説的関連仮説の検証	600
	篠原 一光	教授	挑戦的萌芽	単眼式拡張現実視覚提示の有効性に関する認知心理学的研究	1,300
	松下 戦具	助教	若手B	静止画が動いて見える「フレーザー・ウィルコックス錯視族」の知覚メカニズムの解明	2,600
行動生態	中道 正之	教授	基盤B	ニホンザルとワオキツネザルの親和関係の形成・維持・消失と世代継承に関する行動研究	1,600
	日野林 俊彦	教授	基盤B	ヘテロクロニー(異時性)仮説から見た発達加速	3,000
	足立 浩平	教授	基盤C	スパース因子分析の研究開発	900
	志村 剛	教授	基盤C	軽度慢性ストレスによる過食誘発機構の神経科学的研究	1,500
	安達 悠子	助教	若手B	年齢層別にみる医療行為に対するリスク認知研究	500
社会環境	稲場 圭信	准教授	基盤A	宗教施設を地域資源とした地域防災のアクションリサーチ	6,900
	牟田 和恵	教授	基盤B	ジェンダー平等社会の実現に資する研究と運動の架橋とネットワークキング	3,900
	山中 浩司	教授	挑戦的萌芽	稀少疾患当事者の生活実態についての聞き取り調査	900
	高松 里江	助教	若手B	女性の職業キャリア形成における標準学歴および追加的学歴の影響に関する実証研究	600
	東 園子	招へい研究員	若手B	東アジアで受容される日本の女性向けポピュラーカルチャーが示す男性像の実証的研究	500
	三谷 はるよ	助教	研究活動スタート支援	孤立の形成メカニズムに関する実証研究: サポート受領を規定する社会的文脈の検討	1,100
臨床教育	三宮 真智子	教授	基盤C	メタ認知に働きかけて創造的因果推理力を高める学習プログラムの開発	700
	岡部 美香	准教授	基盤C	〈生の実施知〉を継承する技法に関する歴史的・教育人類学的研究—日韓の比較を通して	800
	藤野 陽生	助教	若手B	統合失調症の社会機能障害の全ゲノム関連解析	1,700
教育環境	志水 宏吉	教授	基盤A	学力格差の実態把握と改善・克服に関する臨床教育社会学的研究	5,200
	園山 大祐	准教授	基盤B	日仏英独における移民の学力保障に関する比較教育研究	3,700
	木村 涼子	教授	基盤C	1930~50年代マスメディアと女性—内容分析とライフヒストリー調査の結合	1,000
	園山 大祐	准教授	挑戦的萌芽	フランスにおける留年制度に関する比較教育社会学的研究	800
	今井 貴代子	招へい研究員	若手B	在日外国人若者のキャリア形成と移行支援に関する研究	600
人間開発	澤村 信英	教授	基盤A	発展途上地域における困難な状況にある子どもの教育に関する国際比較フィールド研究	4,200
	澤村 信英	教授	研究成果公開促進費	アフリカの生活世界と学校教育	1,300
地域研究	川口 純	助教	研究活動スタート支援	教育の量的拡大期における質低下構造の生成に関する研究	1,100
合計					63,200

※平成26年度在籍者分(招へい研究員・非常勤講師含む)

※申請時(H25年10月)の講座・職名で記載。ただし、研究活動スタート支援(新規分)の申請は次年度の為、H26年5月時点の講座・職名で記載。

4-7. 平成 26 年度 厚生労働科学研究費

受入教員	プロジェクト名称	金額 (円)
中村 安秀	国連ミレニアム開発目標の達成に関する研究	2,184,000
中村 安秀	養育支援を必要とする家庭に対する保健医療福祉の連携に関する実践的研究	5,387,000
井村 修	筋強直性ジストロフィー治験推進のための臨床基盤整備の研究	300,000
佐々木 淳	慢性痛に対する認知行動療法の普及と効果解明に関する研究	0 ※分担金なしの分担者
合計		7,871,000

4-8. 平成26年度 受託事業費

受入教員	プロジェクト名称	金額 (円)
西森 年寿	内地研究員(山口 悦司)	154,000
志水 宏吉	教員研修センター研修員(法橋 秀明)	69,600
志水 宏吉	教員研修センター研修員(朝倉 義祐)	69,600
合計		293,200

4-9. 平成 26 年度 受託研究一覧

	部門	プロジェクト名称	受入教員	金額 (円)	相手先名称
1	社会環境学	社会学・ジェンダー研究分野に関する学術研究動向調査研究	牟田和恵	1,690,000	独立行政法人 日本学術振興会
2	教育環境学	まんのう町・自立への教育に向けた調査研究	志水宏吉	1,000,000	まんのう町
3	人間開発学	平成 26 年度 人材育成支援無償事業 特別プログラム	澤村信英	1,000,000	一般財団法人 日本国際協力センター
4	先端人間科学	Implementation and Impact of the IB Dual Language Diploma Program in Japanese Secondary Schools	山本ベバリーアン	5,726,114	国際バカロレア機構
5	教育環境学	熊本県教職員意識調査に係る調査結果データの分析等業務	志水宏吉	378,000	熊本県
6	人間行動学	フレイルの進行に関わる要因に関する研究	権藤恭之	2,000,000	独立行政法人 国立長寿医療センター
7	人間行動学	遠隔操作ロボットメディアによる認知症高齢者の長期データ収集プラットフォームの研究開発	佐藤真一	195,000	総務省
8	人間行動学	超高齢者生活実態調査	権藤恭之	300,040	鳥取市
9	臨床教育学	筋強直性ジストロフィー治験促進のための臨床基盤整備の研究	井村修	300,000	独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院 (厚生労働科学研究委託費の分担金)
合計				12,589,154	

4-10. 平成 26 年度 奨学寄附金受入一覧

	部門	プロジェクト名称	受入教員	金額 (円)	相手先名称
1	先端人間科学	日本心理学会助成金	渥美公秀	900,000	公益社団法人 日本心理学会
2	先端人間科学	大学等連携地域支援事業助成金	渥美公秀	482,250	公益財団法人 さんりく基金
3	人間行動学	佐藤眞一教授研究助成金	佐藤眞一	1,900,000	三菱財団
4	人間行動学	日本生命財団助成金	佐藤眞一	2,000,000	公益財団法人 日本生命財団
5	人間行動学	大阪ガスグループ福祉財団助成金	権藤恭之	990,000	大阪ガスグループ 福祉財団
6	社会環境学	公益財団法人二十一世紀文化学術財団 学術奨励金	竹田恵子	1,752,000	公益財団法人 二十一世紀文化学術財団
7	地域研究	トヨタ財団助成金	河森正人	1,110,000	公益財団法人 トヨタ財団
合計				9,134,250	

4-11. 平成 26 年度 共同研究一覧

	部門	プロジェクト名称	受入教員	金額 (円)	相手先名称
1	人間行動学	リビングルーム環境におけるユーザー行動 パターンの自動マイニング	森川和則	720,000	株式会社 東芝
2	人間行動学	メーキャップにおける錯視の研究	森川和則	1,000,000	株式会社 資生堂
3	人間行動学	単眼式拡張現実感(AR)ディスプレイの3 次元注意喚起特性、3次元視認性評価	篠原一光	1,000,000	株式会社 東芝
4	人間行動学	自発的考え事状態の誘発手法の研究	篠原一光	1,000,000	株式会社 デンソー
5	人間行動学	踏切の視認性に関する多角的な研究	臼井 伸之介	6,204,286	西日本旅客鉄道株式会社
6	行動生態学	The Studies on New Confirmatory Factor Analysis Procedures	足立浩平	837,550	The Open University (イギリス)
合計				10,761,836	

4-12. 平成 26 年度 ヒューマンサイエンスプロジェクト経費採択一覧

	部門	プロジェクト名称	研究代表者	配分額(円)
1	先端人間科学	利他主義の人間科学の創生に向けて	渥美公秀	2,580,000
2	行動生態学	快情動による摂食調節の生理学的基盤の解明	志村剛	2,414,000
3	地域研究	新興国における「小規模多機能ケア拠点モデル」の普及に関する予備的研究	河森正人	915,000
4	社会環境学	インターネットにおける「右傾化」現象の経年比較研究	辻大介	1,043,000
5	人間開発学	「貧困の伝え方研究会」の立ち上げ	岡田千あき	803,000
6	国際交流室	高齢期の健康アウトカムに与えるソーシャルキャピタルの同定と影響	上田博司	2,937,000
7	臨床教育学	流産・死産を経験した母親と父親へのサポートに関する質的研究	管生聖子	1,737,000
合計				12,429,000